

会報

全国国立幼稚園・こども園長会

主な内容

第六十七回総会・研究大会
(岐阜大会) 報告
各部・委員会報告



子どもの最善の利益と

質の高い幼児期の教育の推進

全国国立幼稚園・こども園長会

会長 関 美津子



六月十七日の総会において、岩城眞佐子会長の後を引き継ぎ、会長に就任しました。

幼児教育の重要性について社会の関心が高まっています。向かい風を追い風に変え、本会の歴史を積み重ねてまいります。全国の理事・会員の皆様のお力添えをいただき、本部役員共々、誠心誠意努めてまいります。よろしくお願い申し上げます。

熊本地震への対応

四月に発生した熊本地震では、義援金活動に際して皆様から温かいご支援をいただきました。全国組織の力の大きさを実感しました。

感謝申し上げます。全国国立幼稚園・こども園PTA連絡協議会との連名で、熊本・大分の各幼稚園にお見舞金を第一次支援としてお渡ししました。

国公幼の組織力を堅固に

「子ども・子育て支援新制度」施行二年目になり、多様な幼児教育・保育施設への移行や民営化、園児数減少に伴う園の統廃合等に伴い、本会の会員の減少も続いています。本会の活動や運営に関して常に直しを図っているところです。

本会は、「幼児期の学校教育」の一層の充実・推進に努めています。求められる幼児教育・保育の質を保障するために、全国規模の総会・研究大会、教育研究協議会等を開催、また、子育て支援事業として、親子の触れ合いを深めるための全国ブロックキャンペーン研修会等を実施、最新の教育・保育情報を「幼児教育じほう」にて発信しています。次世代を担う人材の育成に努め、幼児教育の歴史をつないでいくために、組織力の強化を図ってまいります。

子どもの最善の利益を第一に考え、教育・保育を実践している国公幼の全国組織としての存在意義や役割は、ますます大きくなっています。

社会状況が激変する中、課題は各地域・各園で異なることが多いと思います。一人一人の園長が、国公幼の組織の一員としての意識を一層高め、組織力と信念をもって解決してまいります。

幼稚園教育要領の改訂に向けて

今回の改訂では、幼児教育から高等教育までを通じて、見通しをもって系統的に示されます。新たに、幼児教育で育みたい資質・能力が整理され、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿が提示されます。これは、今までも私たちが大切にしてきた「環境を通して行う、自発的な遊びの中での学び」で育まれるものと考えます。

また子どもの姿や地域の実情等を踏まえた「カリキュラム・マネジメント」の確立も、課題に挙げられています。園全体の質の向上に向けて、全職員でカリキュラム・マネジメントを実施していくための園長のリーダーシップが、更に求められます。

地域の幼児教育の中核を担う国公幼として、現行の幼稚園教育要領の実践の振り返りも重要です。このことを踏まえ、今回の改訂の趣旨を理解し、更に質の高い幼児期の教育の推進に取り組んでまいります。